

μnews

豪華プレゼントが当たる！読者アンケート



プロフィール事業 吉田恵里香 講演会 「わたしと「だれか」の物語 ～透明化される存在をエンタメで描く～

吉田恵里香／脚本家・小説家

1987年生まれ、神奈川県出身。多くの脚本を手掛け、小説家としても活躍。代表作は連続テレビ小説「虎に翼」、第40回向田邦子賞受賞作「恋せぬふたり」（ともにNHK）、映画「ヒロイン失格」「センチメンタル」など。2025年4月からアニメ「前橋アーツーズ」(TOKYO MX、BS11など)が放送。プライベートでは5歳児の母でもある。

- P2 【特集1】「虎に翼」脚本家 吉田恵里香さんインタビュー P3 【特集2】ゆうめい 池田亮さんインタビュー
P4 イベントインフォメーション10～12月、ギャラリーインフォメーション
P6 コレミテ！ P7 ぐるっとM P8 豪華プレゼントが当たる！読者アンケート



主催事業ピックアップ 10～12月

10/4[土] セミナー室A

男性講座 スポーツ現場から学ぶ

男性が自分らしく生きるためのメンタルケア

13:30～15:00 参加無料 定員:30名

講師: 芥木香織
(株式会社CORAZONチーフコンサルタント、
順天堂大学スポーツ健康科学部客員教授)

※講師はオンライン出演です。
申込方法:HP、電話、郵送、窓口

◎三重県男女共同参画センター
「フロンテみえ」059-233-1130

数々のトップアスリートたちと向き合ってきたスポーツ心理学者、芥木香織さんをお招きし、スポーツ現場での実例を通じて、男性が自分らしく生きていくための心の習慣についてお話しいたします。



10/30[木] 小ホール

楽楽シリーズ
楽楽文楽塾 ―文楽のツボ―

14:00～16:00 参加費:500円

講師: 葛西聖司(古典芸能解説者)

豊竹呂勢太夫(人形浄瑠璃文楽太夫)

鶴澤燕二郎(人形浄瑠璃文楽三味線)

申込方法:HP、電話、郵送、FAX、窓口

◎三重県生涯学習センター 059-233-1151

共催: 三重県文化会館

日本を代表する伝統芸能「人形浄瑠璃文楽」。その舞台では、太夫・三味線・人形が一体となって、情感豊かに人間ドラマを繰り広げます。今回はゲストに太夫の豊竹呂勢太夫さんと三味線の鶴澤燕二郎さんをお迎えし、古典芸能解説でおなじみの葛西聖司さんとともに文楽の魅力をお話しいたきたいと思います。



豊竹呂勢太夫 鶴澤燕二郎

11/16[日] 多目的ホール

三重県埋蔵文化財センター共催講座

三重の古墳時代の土器生産

13:30～15:30 参加無料

講師: 渡辺和仁(三重県埋蔵文化財センター)

申込方法:HP、電話、郵送、FAX、窓口

◎三重県生涯学習センター 059-233-1151

※オンライン配信あり

古墳時代の三重では土器生産が盛んに行われ、専門の製作工人集団が作った製品が古墳に副葬されました。三重で土器生産をしていた工人達は、どのような理由で、どこから来たのでしょうか。その歴史的な背景を考えます。

六次A遺跡(津市)出土の県内最古級の須恵器



11/29[土] 多目的ホール他

男女共同参画フォーラム ～みえの男女(ひと)2025秋～
監督が怒ってはいけない大会を開催した理由

10:00～15:30 参加無料 定員:150名

講師: 益子直美(元パルボー日本代表、(公財)日本スポーツ協会副会長、
日本スポーツ少年団本部長)

申込方法:HP、電話、郵送、FAX、窓口

◎三重県男女共同参画センター
「フロンテみえ」059-233-1130

共催: 三重県／「第38回農山漁村のつどい」実行委員会

開館以来35年にわたって続いてきた「フロンテみえ」の集大成イベント。令和7年度は久々の「秋」開催です！ゲストを招いてのホールイベントや分科会、パネル展示などを通して、すべての人が「自分らしく」歩んでいくためのヒントを共に考えます。



10/18[土]・19[日] 小ホール

Mゼキセリフシヨソ

河合穂高×下鴨車窓 「黄色の森」

118日13:00開演／18:00開演 119日13:00開演 整理番号付自由席
一般3,000円(当日3,500円)、ユース(22歳以下)2,000円(当日2,500円)

◎三重県文化会館チケットカウンター 059-233-1122

共催: 下鴨車窓

道に迷った三人が森の中で過ごす一夜の物語。
現役の口腔癌研究者・河合穂高の第8回(2022年)せんだい短編戯曲賞大賞受賞作品を、京都の劇作家・田辺剛が初舞台化し、濃密な会話劇をお楽しみください。



下鴨車窓「旅行者」(2023) 撮影:北川啓太

11/15[土] 視聴覚室

信田さよ子講演会&相談会
「ホントに私が悪いんですか?」

13:30～16:30 参加無料 定員:50名

講師: 信田さよ子(原宿カウンセリングセンター顧問、公認心理師、臨床心理士)

申込方法:HP、電話、郵送、窓口

◎三重県男女共同参画センター
「フロンテみえ」059-233-1130

共催: 三重県

長年DVや家族問題に関するカウンセリングや研究を行っている信田さよ子さんをお迎えし、DVの責任は誰が取るべきなのか、DVによる支配から抜け出すにはどうしたらよいのかについて講演していただきます。参加者からの相談にお応えいただく時間も設けた2部構成です。



11/23[日] 祝 多目的ホール

まなびいすとセミナー

切手デザイナーという仕事

—小さな1枚が生まれるまで—

13:30～15:00 参加無料

講師: 玉木 明(切手デザイナー／日本郵便株式会社 切手・葉書室課長)

申込方法:HP、電話、郵送、FAX、窓口

◎三重県生涯学習センター 059-233-1151

そのデザイン性の高さから世界中で愛されている日本の切手。ネット中心の今だからこそ注目したい切手とその魅力について、三重県出身の切手デザイナー玉木明さんからお話をうかがいます。



12/14[日] 大ホール

三重県文化会館セリフシヨソシリーズvol.21
児玉隼人 トランペットリサイタル

16:00開演 全席指定

一般2,000円、30歳以下1,000円

◎三重県文化会館チケットカウンター
059-233-1122

10月5日(日)チケット発売

大注目！すでに国内コンサートで数多くの優勝を果たし、いくつものプロのオーケストラと共演経験を持つ、脅威の若き天才トランペッターが登場します！



©Yuji Ueno

【特集1】「虎に翼」脚本家 吉田恵里香さん インタビュー

「わたし」と「だれか」の物語

～透明化される存在をエンタメで描く～

Interview

社会現象となったNHK連続テレビ小説「虎に翼」の脚本を手掛けるなど、今もっとも注目を集める脚本家の一人、吉田恵里香さん。吉田さんの作品は社会に潜む様々な問題や風潮を鋭く捉え、多くの視聴者の共感を呼んでいます。10月13日に行うフレンテみえ プレリユード事業では、吉田さんをお招きし、作品に込めた想いや創作の背景について伺います。講演会に先立ち、インタビューを行いました。



Q1

吉田さんの作品には、社会で見過ごされがちな「透明化された存在」が印象的に描かれています。そうした人物に目を向けるようになったきっかけは何かあったのでしょうか？

具体的で劇的なきっかけはないのですが、今振り返れば思うことがあります。10代の頃、旧作レンタル100円セールで海外ドラマをよく借りていました。意図的にそういう作り方になっていたのだと思いますが、様々な人種・セクシュアリティ・障害・宗教観を持つ人物が作品内で描かれていることが印象的でした。それと同時に、今まで当たり前に見ていた作品たちが多くのものを省いていたのだと気づけました。気づけたことが、ある意味きっかけなのだと思います。現状、日本では人種・セクシュアリティ・障害・宗教観が作品で省かれていないと「なぜこれを描く必要があったのか？」など理由を問われることが非常に多いです。存在に理由を求めること自体が差別的なわけですが、そこに無自覚な社会に疑問を持つことが多いです。私は無自覚から自覚的になるきっかけを作りたいのだと思います。

Q2

「透明化された存在」を描いた作品が、“当事者でない人”の気づきや心の動きにつながることもあると思いますが、これまでの作品で手ごたえや可能性を感じたことはありますか？

私が作品でめざしているのは正にここです。Q1でも述べましたが、大抵の差別や蔑視は悪意なく無意識に行われます（キム・ジヘさん著の『差別はたいてい悪意のない人がする』を読むと非常に分かりやすく理解できると思います。おすすめです）。そもそもの知識が無かったり、興味がない事柄を知るきっかけを作ることの意味があると思います。エンタメを通じて変化する認識や気づける差別があると信じています。時々、エンタメや私自身の無力さに落ち込むことはありますが、即効性はなくとも何かを変える力があると信じています。作品を見た方の感想・ご意見はいつも励みになっており、次の作品を作る力になっています。



『差別はたいてい悪意のない人がする』キム・ジヘ著／大月書店

Q3

出産後、「子育てをしながら仕事をしていく」と決めたと伺いましたが、育児と仕事の両立をする中で、表現の軸に変化はありましたか？

まず言いたいのは私は一度も育児と仕事を両立できたことはありません。大抵どちらかにトラブルを抱えています。私は家族や仕事仲間・友人たちに沢山支えられて、恵まれている立場にあると自負しています。保育園の先生方・調理師の先生方には頭が上がりません。恵まれていると感じながらも、それでも日々を円滑に過ごす難しさを感じています。伝えたいメッセージの変化とは少し違いますが、どんなに感じが悪い人や嫌な人でも何かしら抱えているものがあるに違いないと思うようになりました。少し優しい人間になれた気がしています。育児と仕事に関わらず、どんな状態の方もしんどさを抱えて生きている。わたしは「だから耐える・我慢しろ」ではなく「だからこそ、しんどさを減らすように連帯しあえる」社会にしたいなと思っています。

Q4

吉田さんが、仕事と向き合う中で、ご自身が大切にされていることや、マイルールなどがあれば教えてください。

常に全力で取り組むこと。一作一作でベストを尽くして多くの方に届く努力を怠らないことです。当たり前のように思われるかもしれませんが、経験値を積んでいくと本気をださずとも、それなりのクオリティのものを作れるようになります。制作陣の中にも、手癖だけで仕事に取り組む方がいるのも事実です。でもどうしても私はそれが嫌なのです。それなりの作品が作れて、それなりに誰かの心に届いたとしても、その作品が100点や120点の作品になることは絶対にありません。映像はチームでつくるものなので、チームの相性で全力をだしてもクオリティが下がることもあります。でも、せめて後悔しないように私は全力でありたい。なので手癖に抗うことを心がけています。

最後に、Mニュースを手にとっていただいた三重県みなさんへ、一言メッセージをお願いいたします

インタビューの機会をいただけて大変嬉しいです。ここまで目を通していただけたことが光栄です。私の作品をご覧いただいたことがある方には心からの感謝を。まだご覧いただいたことがない方には、いつか心に届く作品を作れるように頑張ります。どうぞみなさま、健康第一でご自愛して日々をお過ごしください。

実は、三重には幼い頃に一度訪れたことがあり思い出の地であります。亡き祖母と家族と共に、三重から和歌山へと旅行をして伊勢神宮、熊野古道と高野山に伺いました。今年の秋に講演の機会をいただきました。今から伺うことを楽しみにしています。

10/13 [月・祝] 中ホール

プレリユード事業 吉田恵里香講演会「わたし」と「だれか」の物語 ～透明化される存在をエンタメで描く～

講師：吉田恵里香（脚本家・小説家） ナビゲーター：山上和美（アナウンサー）

13:30～15:00 入場無料 定員：500名 申込方法：HP、電話、郵送、FAX、窓口 ※申込状況により受付を終了している場合があります。 〓三重県男女共同参画センター「フレンテみえ」059-233-1130





ゆうめい

【特集2】

ゆうめい10周年全国ツアー公演「養生」
作・演出・美術：池田 亮 インタビュー



ゆうめい結成のきっかけは
ミエ・ユース演劇ラボ！

10周年の集大成公演「養生」に迫る



「養生」メインビジュアル

池田さんが
造形・撮影！

Ⅱ 演劇をはじめたきっかけ



元々13歳から匿名で小説を書き始めて、学生の頃から他にも模型とか彫刻づくりや、陸上競技などをしていました。その後墓石職人になりたくて多摩美術大学の彫刻学科に入学して、演劇部に入ったんです。入部がきっかけで演劇と彫刻が近く感じて演劇に興味がわきました。大学を卒業する頃には演劇を最後にしようと思っていたんですが、ちょうどその頃ハイバイの岩井(秀人)さんが発明したハイバイドア*の美術が見たくて。岩井さんと出会って、岩井さんが講師のミエ・ユース演劇ラボ*(以下、ミエユース)を紹介してくださったんです。それで2015年に参加して、演劇面白そうだからまだ続けようかなと思いました。

Ⅲ ミエ・ユース演劇ラボに参加したときの思い出



すごく楽しかったですね。大学卒業前の卒業旅行みたいで、その卒業旅行があまりにも楽しすぎたって感じでした(笑)。今まで大学で同世代の人とつくっていたけど、色々な年代の人たちと一緒に何かをつくるっていうのが楽しかったです。各々の体験をもとにつくるのも今まで自分が匿名で書いてた小説やつくってた彫刻に近くて。しかも発表しないと成立しないと思ってたけど、毎日作品が完成してた面白さがあって、日によって全然違う。でも毎回変わる瞬間とか楽しかった。彫刻をつくってるときや匿名で小説書いてるときはずっと一人の世界なんですけど、他者とつくってる時自分がこうだと思っていた世界が揺れ動かされる瞬間があって、他の人の存在によってがらっと世界観が変わってひとつに決まらないのが演劇の醍醐味というか楽しみなあと感じています。

Ⅳ ゆうめいのあゆみ



ミエユースが終わって2015年に同じく参加者の丙次とゆうめいを結成しました。結成当初は演劇だけをやるうちは思ってなくて、色々なことをやりたいと思ってました。それで舞台・映像・美術をつくる団体として、ギャラリー公演とか、戯曲より先に美術を考えてそこに物語や戯曲をあてはめてくとかをやり始めてましたね。それもミエユースの影響が強いなと改めて思います。

最初は自分や近い他者の体験をもとに作品にしていたんですが、ゆうめいの公演と同時進行で別のメディア関係の仕事をしている中で、どうしても売れるための教科書は開きっぱなしにしなければならないみたいな、権威的な法則に基づいた応援されやすく分かりやすいキャラクター像をつくっていくことに比重を置かなければならない瞬間が多くて、ビジネスとしてはとても大事だけど、だれかや自分たちを透明化することに深くつながるとも思っていて。そこで現実や人の複雑な分かりにくさを描く方が演劇だとしたらより広く想像できるのではないかなと思ってつくったのが2023年の「ハートランド」でした。評価が一番わかれた作品なんですけど岸田國土戯曲賞をいただいて、それまでいわゆる賞レースには興味なかったんですが、賞をとったからには大きな責任があると思って。それで、「ハートランド」のことや、ゆうめいの中で大切にしていたものを失い、もうもどらない瞬間を沢山盛り込んでつくったのが「養生」という作品です。

*ハイバイドア…ハイバイの岩井秀人さんが発明した、ドアノブが宙に浮いているような舞台装置。

*ミエ・ユース演劇ラボ…三重県文化会館が2014年～2018年(上演年)に実施していた、高校生から25歳以下の若手を対象に期間限定疑似劇団をつくる企画。

Ⅴ 「養生」について

とっかかりとしては「養生」は全体のストーリーより美術が先なんです。大学で彫刻をやっていたときに腰を壊してしまったのを機に作品を全く作れなくなったときがあって、同時期に夜勤現場によく入っていたんですが、脚立が壊れて廃棄するとき脚立に美術的な要素を感じて。使えなくなったら終わりみたいなことと、腰が壊れた自分がリンクして。タイトルも養生テープと体を休める“養生”とか、“養”って“生”きるなど様々な意味がこめられると思ったのでつけました。

近年の自分やゆうめいも生活の変化によって大事にしたい基準が変わってきて、作品をつくる意味を追求していく中で、今まで大切にしていたクリエイティブの根源部分も結局不確かな権威の基準に則って見失っていたと感じる瞬間が多くて。今の生活をしている自分が描けることはもっと違うものかもしれないっていうのがずっと頭の片隅にあったんです。“芸術と労働と生活”が自分たちに一番密接だったので、それがテーマになる話が必然的にできあがった感じでした。

今までより予算を限りなく削って、育児の合間をぬって少ない人数で、彫刻脳というか空間脳でつくりました。反省点を活かした集大成としてできた実感があったので、お客さんからの評判もすごくよくて、それが読売演劇大賞でも評価されて、今までの自分たちがやってきたことが全面に押し出された作品は「養生」なんじゃないかな、と今になって思います。



「養生」(2024初演) 撮影：佐々木啓太

Ⅵ お客さんへのメッセージ



「養生」はゆうめいの自己紹介的な作品でもあるので、ぜひご覧いただいて色々な感想をいだいてほしいです。記念公演は初めてで、まだまだ10年ですが、10年やってきょうやく長く続きそうだと思うようになりました。変わった部分も変わらない部分もあり、自分たちのカラーがでる凝縮される作品になったと思います。劇中でも10年前と現在を描いているので、作品としてもお客さんにとっても10年を考える機会として、作品だけじゃない体験を含めて劇場を出た後の景色が違ってくるようなといいなと思います。

ミエユースに参加して三重の劇場でできたことが演劇を続けていききっかけになったので、演劇の力がすごく強い場所だなと思っています。そういう意味では凱旋公演というか、感謝や報告をする場所に、帰って来たという感じです。三重によってこんな団体が生まれて、こんな作品ができたというのを届ける作品にして、楽しんでもらいたいです。

たっぷり語っていただいたインタビュー
続きはWEBでどうぞ。



作・演出・美術 池田 亮

1992年、埼玉県生まれ。13歳から原体験をもとにした小説を匿名でネット上に発表し続けた経験を機に、ルポルタージュやメディア脚本等の様々な媒体で執筆を担う。墓石や玩具など、人の心が生み出す物体にも傾倒し、立体造形や空間について学ぶ。東京藝術大学大学院美術研究科彫刻専攻修了。2015年「ゆうめい」を結成。全作品の脚本・演出、多くの美術を手掛ける。2024年『ハートランド』で第68回岸田國土戯曲賞を受賞。2025年『養生』で第32回読売演劇大賞優秀演出家賞を受賞。造形作家としても活動し、原案・カプセルトイの原型を手がけた『クリスタルハンドルの水栓リング』が全国流通。

あらすじ

美大生の橋本(本橋 龍)と、大学生の阿部(丙次)はショッピングモールや百貨店の内装を行う夜勤バイトで出会った。正社員のことをネタに「卒業したら絶対ああならない」と陰で笑い合う。数年後、二人はその夜勤の正社員になっていた。阿部は家庭を持ち、辞めそうな新入社員の清水(黒澤多生)を教育する。作家を目指していた橋本は、著名作家となった同期が百貨店の人気ギャラリーで展覧を開くことを知り、その広告設営を担う。夕方から明け方の夜勤劇。

11/8[土]・9[日] 小ホール 9日のみ

ゆうめい10周年全国ツアー公演「養生」

[8日]14:00開演 [9日]13:00開演

整理番号付自由席

一般 3,500円、U-39 2,800円、U-25 2,000円、U-18 1,000円

障がい者割引 2,500円(同伴の介助者1名無料)

©三重県文化会館チケットカウンター059-233-1122

9月27日(土)チケット発売

1[水] 中ホール	令和7年度 三重県産業安全衛生大会 死亡災害撲滅・死傷者数2,000人未満を目指して 13:00開演(予定) 入場無料 ㊟(一社)三重労働基準協会連合会 059-227-1051
3[金] 大ホール	五木ひろし スペシャルコンサート2025 デビュー60周年記念 復 14:00開演(予定) 全席指定 8,800円 ㊟鶴飼興業(株) 052-221-1166
3[金] 中ホール	令和7年 地域安全・暴力追放三重県民大会 13:00開演 入場無料 ㊟(公社)三重県防犯協会連合会 059-225-4333
4[土] 大ホール	東儀秀樹×川井郁子×三浦一馬 MIN-ON PREMIUM CONCERT 15:00開演 全席指定 S席7,000円、A席6,000円 ※未就学児入場不可 ㊟MIN-ON 中部センター 052-325-5495
4[土]・5[日] 小ホール	第七劇場「ワーニャ伯父さん」 5日のみ 主催 [4日]14:00開演／[18:00開演 [5日]14:00開演 整理番号付自由席 一般3,000円(当日3,500円)、22歳以下1,000円 ㊟三重県文化会館チケットカウンター 059-233-1122
5[日] 大ホール	三重県文化会館セレクションシリーズvol.20 トルヴェール・フルテット U30割 Class 5日のみ 復 主催 14:00開演 全席指定 一般2,000円、30歳以下1,000円 ㊟三重県文化会館チケットカウンター 059-233-1122
5[日] 多目的ホール	里親シンポジウム 13:00開演(予定) 入場無料 ※要申込 ㊟(特)三重県子どもNPOサポートセンター 059-232-0270
8[水] 小ホール	武澤秀平 チェロ&ヴィオラ・ダ・ガンバ ソロコンサート 14:00開演 全席自由 3,000円 ㊟ユヴェナリス 070-2622-7654
12[日]・13[月・祝] 大ホール	第30回 みえ音楽コンクール フルーツ部門本選(12日)・弦楽部門本選(13日) 主催 10:30開演(予定) 入場無料 ㊟みえ音楽コンクール事務局 059-233-1112
12[日] 多目的ホール	社交ダンスパーティー キャノンボールさんの生バンド演奏 13:00開演 入場料 2,000円 ㊟三重県アマチュアダンス連盟 090-3467-6140 (秋山)
13[月・祝] 中ホール	プレリウド事業 吉田恵里香講演会 「わたし」と「だれか」の物語 ～透明化される存在をエンタメで描く～ 5日のみ 復 5日のみ 主催 13:30開講 入場無料 ㊟三重県男女共同参画センター「フレンテみえ」 059-233-1130
18[土] 中ホール	津西 2025 秋の音楽祭 13:00開演 入場無料 ㊟津西地区社会福祉協議会 090-8673-3738
18[土]・19[日] 大ホール	第30回 みえ音楽コンクール ピアノ部門本選 主催 [18日]10:30開演(予定) [19日]9:00開演(予定) 入場無料 ㊟みえ音楽コンクール事務局 059-233-1112
18[土]・19[日] 小ホール	Mゲキセレクション 河合穂高×下鴨車窓「黄色の森」 5日のみ 19日のみ 主催 [18日]13:00開演／[18:00開演 [19日]13:00開演 整理番号付自由席 一般3,000円(当日3,500円)、ユース(22歳以下)2,000円(当日2,500円) ㊟三重県文化会館チケットカウンター 059-233-1122
21[火] 大ホール	久保田利伸 40th Anniversary Tour 2025-26 『Big up!』 復 18:30開演 全席指定 12,000円 ※未就学児入場不可 ㊟(株)サンデーフォークプロモーション 052-320-9100
25[土] 大ホール	第46回 みえ高文祭「舞台発表」 14:00開演(予定) 入場無料 ㊟三重県高等学校文化連盟 059-395-6936
25[土] 中ホール	第68回 三重県高等学校校定時制通信制生徒生活体験発表大会 [1回目]10:30開演(予定) [2回目]13:40開演(予定) 入場無料 ㊟三重県教育委員会事務局高校教育課 059-224-3002
25[土]・26[日] 小ホール	第46回 みえ高文祭「演劇」 [25日]10:00開演(予定) [26日]9:30開演(予定) 入場無料 ㊟三重県高等学校文化連盟 059-395-6936

26[日] 多目的ホール	第19回 ピアノコンクール オーディション東海Bブロック本選会 開演時間未定 入場無料 ㊟日本ピアノ研究会 東海Bブロック 059-279-3620(谷口)
28[火] 大ホール	NiziU Live with U 2025 復 18:30開演 全席指定 12,500円 4歳以上チケット必要 ※4歳未満のお子様の入場不可 ㊟(株)サンデーフォークプロモーション 052-320-9100
30[木] 中ホール	琴伝流大正琴 第19回 三重県大会 10:30開演 入場無料 ㊟琴伝流大正琴全国普及会東海本部 052-321-4525 (山崎)
30[木] 小ホール	楽楽シリーズ 楽楽文楽塾 一文楽のツボー 主催 14:00開講 500円 事前申込制・先着順 ㊟三重県生涯学習センター 059-233-1151
31[金] 大ホール	 ワンコインコンサートvol.152 カウンターテナー 藤木大地 5日のみ 復 主催 11:30開演 全席自由 500円 ※チケットレス ㊟三重県文化会館チケットカウンター 059-233-1122

1[土] 中ホール	舞台映像上映 Reライブシアター 主催 13:00上映 PARCO PRODUCE 2024「リア王」／17:00上映 ヨーロッパ企画「来てけつかるべき新世界」 全席指定 各回 1,000円 ㊟三重県文化会館チケットカウンター 059-233-1122
2[日] 大ホール	ヴォーカルアンサンブル《EST》第32回コンサート みやけまつり 14:30開演 全席自由 一般1,500円(当日2,000円)、大学生1,000円(当日1,500円)、高校生以下750円(当日1,000円) ㊟ヴォーカルアンサンブル《EST》 090-1860-9541 (平日昼のみ)
3[月・祝] 大ホール	松本宗利音指揮 新日本フィルハーモニー交響楽団 5日のみ U30割 Class 5日のみ 復 主催 16:00開演 全席指定 S席5,000円、A席4,000円、B席3,000円 ㊟三重県文化会館チケットカウンター 059-233-1122
8[土]・9[日] 小ホール	ゆうめい10周年全国ツアー公演「養生」 5日のみ 9日のみ 主催 [8日]14:00開演 [9日]13:00開演 整理番号付自由席 一般3,500円、U-39 2,800円、U-25 2,000円、U-18 1,000円、障がい者割引2,500円(同伴の介助者1名無料) ㊟三重県文化会館チケットカウンター 059-233-1122
9[日] 多目的ホールほか	みえ生涯学習ネットワーク 地域『学』フェスティバル+くらしを彩る本まつり 主催 10:00～16:00 入場無料 ㊟三重県生涯学習センター 059-233-1151
16[日] 大ホール	第68回 三重ヴォークス ボーナ 定期演奏会 合唱団「うたおに」を迎えて 14:00開演 全席自由 一般1,000円、高校生以下500円 ㊟三重ヴォークス ボーナ 090-7748-0753
16[日] 中ホール	第30回 三重県歯科保健大会 13:00開演 入場無料 ㊟(公社)三重県歯科医師会 059-227-6488
16[日] 多目的ホール	三重県埋蔵文化センター共催講座 三重の古墳時代の土器生産 主催 13:30開講 入場無料 事前申込制・先着順 ㊟三重県生涯学習センター 059-233-1151
19[水] 大ホール	 ワンコインコンサートvol.153 モンゴル伝統楽団 テンゲル・アヤルグー 5日のみ 復 主催 11:30開演 全席自由 500円 ※チケットレス ㊟三重県文化会館チケットカウンター 059-233-1122
20[木] 中ホール	第386回例会 劇団昴『クリスマス・キャロル』 復 18:30開演 会員制 ※当日入会可 ㊟津演劇鑑賞会 059-261-6046・090-4412-0002(伊藤)
22[土] 中ホール	人形浄瑠璃 文楽(字幕付き) 5日のみ 復 主催 [昼の部]13:00開演 [夜の部]17:00開演 全席指定 S席3,500円、A席2,500円、昼夜通し券(S席6,000円、A席4,000円) ㊟三重県文化会館チケットカウンター 059-233-1122
23[日・祝] 多目的ホール	まなびいすとセミナー 切手デザイナーという仕事 一小さな1枚が生まれるまで― 主催 13:30開講 入場無料 事前申込制・先着順 ㊟三重県生涯学習センター 059-233-1151



「太夫」「三味線」「人形遣い」による三位一体の技をご覧ください。

11/22[土] 中ホール 5日のみ 復

人形浄瑠璃 文楽

昼の部・義経千本桜「道行初音旅」、新版歌祭文 夜の部・曾根崎心中

[昼の部]13:00開演 [夜の部]17:00開演
全席指定 S席3,500円、A席2,500円、昼夜通し券 S席6,000円、A席4,000円
㊟三重県文化会館チケットカウンター 059-233-1122

チケット発売中





ART SHOP Mikke

カフェMikke! 13:00～16:00
茶室で美味しいコーヒーとお菓子を。

体験Mikke! 10:00～11:15
コーヒーワークショップ
オリジナルブレンド作りと
テイスティング
事前申込制 詳細は右の二次元コードをチェックしてください。



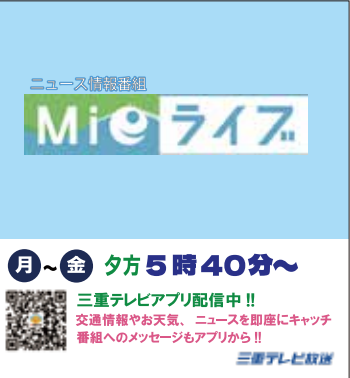
舞台芸術のスタッフワーク

株式会社 アイ・ステージカンパニー	有限会社 現場サイド
有限会社 アクティブ	株式会社 シーシーワーク
有限会社 アトリエ	有限会社 ジーボックス
有限会社 origami	有限会社 ステージコラホレーションIGA
有限会社 グローバルステージ	株式会社 PRISM
合同会社 CROSSOVER	有限会社 レイルロード
有限会社 ケイ・スタッフ	

三重県舞台管理事業協同組合
<http://www.miebukyo.or.jp>
059-229-8843 office@miebukyo.or.jp



毎週月曜 **よる7時～**
(土曜ひる12時～再放送)
TVerで見逃し配信中!



ニュース情報番組
Mieライズ
月～金 **夕方5時40分～**
三重テレビアプリ配信中!!
交通情報やお天気、ニュースを即座にキャッチ
番組へのメッセージもアプリから!!
三重テレビ放送

ISO9001:2015認証取得
高圧受変電設備・太陽光発電設備からLAN配線工事まで
皆様のご要望に技術と信頼でお応えする

MEC 三重電業株式会社
MIE ELECTRIC CORPORATION

〒514-0131 三重県津市あのとつ台四丁目7番地7
TEL (059)-232-5115
FAX (059)-232-5586
URL <http://www.mieden.com/>
E-Mail info@mieden.com

24 ^[月・休] 大ホール	津市消防音楽隊 創立50周年記念コンサート 13:00開演 入場無料 ※事前申込必要 📞津市消防本部消防総務課 059-254-0353
24 ^[月・休] 小ホール	津市防火協会 発足20周年記念講演会 10:00開演 入場無料 📞津市防火協会 059-256-4222
26 ^[水] 大ホール	SHOGO HAMADA ON THE ROAD 2025-2026 Under The BLUE SKY ^復 18:00開演 全席指定 S席13,200円、A席11,000円、立見指定9,900円 📞(株)サンデーフォークプロモーション 052-320-9100
27 ^[木] 大ホール	反田恭平 ピアノリサイタル2025 ^{👤 復 主催} 19:00開演 ※予定枚数終了 📞三重県文化会館チケットカウンター 059-233-1122
28 ^[金] 大ホール	野口五郎 GORO NOGUCHI CONCERT TOUR 2025 ^復 THE SONGS ～通り過ぎたものたち～ 18:30開演 全席指定 S席8,800円、A席5,500円(後日追加発売予定:B席3,500円) ※未就学児入場不可 📞チケットパートナーズ 022-222-2022(平日11:00～16:00)
29 ^[土] 大ホール	東海東京フィナンシャル・グループpresents 葉加瀬太郎コンサートツアー2025 ^復 TARO HAKASE 35th Anniversary The Best of 35 Years 16:30開演 全席指定 11,000円 ※4歳以下入場不可 📞(株)サンデーフォークプロモーション 052-320-9100
29 ^[土] 小ホール	津西地区ふれあいコーラスのひろば 13:00開演 入場無料 📞津西地区コーラスのひろば連絡会代表代理 059-202-0560(富士榮)
29 ^[土] 多目的ホールほか	男女共同参画フォーラム ～みえの男女(ひと) 2025秋～ 監督が怒ってはいけない大会を開催した理由 ^{👤 🗣️ 主催} 10:00～15:30 入場無料 📞三重県男女共同参画センター「フレンテみえ」 059-233-1130
30 ^[日] 大ホール	キーウ・グランド・バレエ・シアター「眠れる森の美女」 ^{🎓 👤 復 主催} 14:00開演 全席指定 一般4,000円、中学生以下2,000円 📞三重県文化会館チケットカウンター 059-233-1122
30 ^[日] 中ホール	佐々木典子フラメンコスタジオ公演「Fin de Curso 2025」 14:00開演 全席自由 4,000円 📞佐々木典子フラメンコスタジオ 080-6906-2626 mail:lanoriko@gmail.com
30 ^[日] 小ホール	ピティナピアノステップ 津秋季地区 10:00開演(予定) 入場無料 📞(一社)全日本ピアノ指導者協会 TSUステーション 059-225-7882
30 ^[日] 多目的ホール	第12回 あいピアノ教室 ピアノ発表会 13:00開演(予定) 入場無料 📞あいピアノ教室 059-233-2258(森川)

3 ^[水] 大ホール舞台上	オンステージコンサートvol.12 ^{👤 主催} ピアノ 山縣美季 14:00開演 全席指定 2,000円 📞三重県文化会館チケットカウンター 059-233-1122
6 ^[土] ・7 ^[日] 小ホール	劇団ジャブジャブサーキット創立40周年＆ファイナルツアー「夜の横顔」 ^{👤 7日のみ 主催} [6日]14:00開演 / [18:30開演 [7日]14:00開演 整理番号付自由席 一般3,000円(当日3,300円)、22歳以下2,000円(当日2,300円) 📞三重県文化会館チケットカウンター 059-233-1122
13 ^[土] 小ホール	第23回 天天二胡会発表会 13:00開演(予定) 入場無料 📞天天二胡会 090-1833-4752(梁)
14 ^[日] 大ホール	三重県文化会館セレクションシリーズvol.21 ^{U30割 🎓 📺 👤 復 主催} 児玉隼人 トランペット・リサイタル 16:00開演 全席指定 一般2,000円、30歳以下1,000円 📞三重県文化会館チケットカウンター 059-233-1122

14 ^[日] 多目的ホール	おしゃべり古典サロン vol.16「仮名手本忠臣蔵」十段目～十一段目 ^{主催} 14:00開講 全席自由 1,000円 📞三重県文化会館チケットカウンター 059-233-1122
18 ^[木] 小ホール	加羽沢美濃のクラシック音楽講座 ^{主催} 14:00開講 全席自由 1,500円 📞三重県文化会館チケットカウンター 059-233-1122
19 ^[金] 小ホール	講座ボランティア企画 第96回 名盤を聴く ヤーノシュ・シュタルケル(チェロ奏者)特集 ^{主催} 13:30開講 入場無料 事前申込制・先着順 📞三重県生涯学習センター 059-233-1151
21 ^[日] 大ホール	第40回 三重音楽祭「第九」気鋭の指揮者・ソリストとともに 岡田文化財団助成事業 14:00開演 全席指定 S席2,000円(当日2,300円)、A席1,500円(当日1,800円)、B席1,000円(当日1,300円) 📞三重音楽祭実行委員会 059-230-2133
21 ^[日] 中ホール	第19回 東海ピアノオーディションコンクール受賞記念披露コンサート 13:00開演(予定) 入場無料 📞日本ピアノ研究会東海Bブロック 059-279-3620(谷口)

ギャラリーインフォメーション

10/10 ^[金] ～12 ^[日] 第1ギャラリー(B)	葉のアーティストたち展vol.9 [10日]13:00～16:00 [11日]11:00～16:00 [12日]11:00～15:00 入場無料 📞名張育成会 ワークプレイス葉 0595-62-3271
10/15 ^[水] ～19 ^[日] 第1ギャラリー	令和7年度 すこやかライフ三重「文化作品展」 9:00～16:30 ※初日は13:00～16:30 入場無料 📞(一財)三重県老人クラブ連合会 059-227-1621
10/24 ^[金] ～26 ^[日] 第1・2ギャラリー	第46回 みえ高文祭「展示」 9:30～17:00 ※最終日は9:30～15:00 入場無料 📞三重県高等学校文化連盟 059-395-6936
11/6 ^[木] 第2ギャラリー	チカザワジム オータムフェア 2025 10:00～19:00 入場無料 📞(有)チカザワジム 059-228-4228(近澤)
11/26 ^[水] ～30 ^[日] 第1ギャラリー	津西地区創作展(旧 津西地区ふれあい創作展) 2025 晩秋のひとときを総合文化センターで開催の津西地区創作展2025で楽しみましょう 9:30～21:00 ※初日は9:30～17:00、最終日は9:30～14:00 入場無料 📞津西地区創作展推進委員会 059-229-6190(笹山)
12/3 ^[水] ～6 ^[土] 第1・2ギャラリー	第92回 独立展 中部巡回展 9:30～17:00 ※最終日は9:30～15:00 一般700円、学生・障害者無料 ※要証明書 📞中部独立美術協会 090-5109-8808(岡林)
12/12 ^[金] ～14 ^[日] 第1・2ギャラリー	令和7年度 三重県障がい者芸術文化祭 作品展 10:00～16:00 ※最終日は10:00～15:00 入場無料 📞三重県障がい者芸術文化活動支援センター 059-232-6803
12/17 ^[水] ～20 ^[土] 第2ギャラリー	第39回 全国シルバー書道展 三重展 10:00～16:00 入場無料 📞全国シルバー書道展 三重展 実行委員会 059-383-6007(深見)
12/24 ^[水] ～28 ^[日] 第2ギャラリー	こどもおとな合同作品展 9:30～17:00 ※最終日は9:30～15:00 入場無料 ※子ども向け 📞アトリエ9会 059-226-7411(中井)

^{主催} 三重県総合文化センター主催事業 ^{U30割} 30歳以下は当日年齢証明提示で割引
📺 学生向けサービス 25歳未満の学生に限り当日の空席を1,000円で販売します。
🎥 クラシック後半割 休憩後からのご入場で定価の半額。当日、開演後に発売いたします。(事前のお申し込みはできません。完売の場合は販売いたしません。)
👤 託児サービス このマークのある公演に適用されます。託児の申込は全て予約制(生後3か月から就学前まで) 公演2週間前までにお申し込み下さい。
🚌 そうぶんバスツアー 東紀州地域からの往復バスツアー 事前申込制・先着順 お問い合わせ TEL059-233-1105
👤 復 …終演後に津駅西口行きの臨時バス運行 ※往路は路線バスをご利用ください。🗣️ 手話通訳有 📞…問い合わせ先
🕒 赤外線補聴システムをご利用いただける催し物もございます。詳細は施設利用サービスセンターまでお問い合わせください。(フリーダイヤル0120-319-489)



© hiromasa

「ランチタイム」に「1時間」で「500円」のカジュアルコンサートシリーズ ^{大ホール 復 👤}

ワンコインコンサート

全席自由 500円 チケットレス
10:45開場 11:30開演(12:30終演予定)

vol.152

10/31^[金]

オペラの本場ウィーン国立歌劇場で活躍、唯一無二の歌声
カウンターテナー
藤木大地



vol.153

11/19^[水]

大阪国際室内楽フェスタ2023
メニュースキン賞受賞！
モンゴル伝統楽団
テンゲル・アヤルグー

「…たくなる」を増やしたい。

BEING



株式会社ビーイング
〒514-0003 三重県津市板橋 1-312

資産運用のご相談は 三十三銀行へ！

お客さまのニーズに合った資産運用を、
親身に、わかりやすくご提案します。
初めての方もお気軽にご相談ください。



三十三銀行



POMPOMPURIN
© 2023 SANRIO CO., LTD. APPROVAL NO.1621217

チカザワジム オータムフェア 2025
「楽しいを発見！」
11月6日(木) 10:00～19:00
三重県総合文化センター 第2ギャラリー
文房具が好きな方は是非お越し下さい!!



有限会社 ちかざわジム
津市西丸之内6-5(新町通り) TEL:059-228-4228

コレミテ!

これぜひ観てほしい!そんな思いがあふれるコラム

ふじしま・えりこ

福岡県出身。愛知県立芸術大学美術学部油画専攻卒業。2015年度より5年間、長久手市文化の家情報系創造スタッフとして俳優の立場で広報補助をはじめフリースペースでの短編劇、戯曲を読む参加型ワークショップ(えんげきりびん)を企画。また、美術の経験を活かして「対話型鑑賞」にも取り組んでいる。2024年より、かすが市民文化財団が行う「演劇×自分史」プロジェクトのアシスタントとしても活動している。



かねしげ・としひろ

三重県津市出身。東京とライブツィヒにて学ぶ。これまでに、ボローニャ音楽祭、ブダペストの春音楽祭、ドレスデン国立歌劇場475周年記念室内楽演奏会、三重県文化会館主催「ベートーヴェンピアノソナタ全曲演奏会」、トッパンホール23周年パースデーコンサート、東京・春・音楽祭など多数の音楽祭・演奏会に出演。ライブツィヒ音楽演劇大学で講師を務めた後、現在は、東京藝術大学、京都市立芸術大学、名古屋音楽大学にて後進の指導に当たる。
<https://t-kaneshige.com>



藤島えり子の“推し”劇団員紹介!!



劇団を続けるということ

Performing arts vol.2

2010年から3年間「トリプル3演劇ワリカンネットワーク」という企画がありました。地方の3つの劇場と、3つの劇団が3年かけて作品を上演する、という大がかりな企画。その3つの劇場のうちのひとつが三重県文化会館で、劇団のひとつが劇団ジャブジャブサーキットでした。それから2013、2014、2016年とジャブジャブサーキットは三重県文化会館で公演をし交流を深め、今年9年ぶりに帰ってきます。

というのも今回上演する「夜の横顔」がファイナルツアーになるらしいのです。このお話を聞いた時「ええ!？」と思わず声を上げました。

定期的に東名阪でツアーをする劇団は全国的にもかなり少なくなっているなか、東海地方では少年王者館とジャブジャブサーキットだけ。どちらも主宰の年齢は60代(少年王者館主宰の天野天街さんは昨年ご逝去)。若手の後継がないのは様々な理由があるとは思いますが、やはり大変なのだと思います。私自身も10年前くらいまで俗に言う劇団員として活動していました。活動中は金銭的な問題は常にあり「県外公演もいつかは」とは思っていました。活動中が叶わぬまま、劇団員それぞれの生活環境も変化し、ツアーどころか自然消滅のように活動を休止しました。

地方で活動する劇団で、演劇だけで生活できている人はごくわずかです。昼間は会社員として働いて、仕事のあとや休日に稽古を重ね、有休を取って公演本番を迎える人が多いです。しかしどんなに好きでも、拘束時間の長い演劇は家族や周囲の人の理解がないと続けられなくなってしまいます。あと気力と体力も。

それでも40年、コロナ禍でも活動を続けてきたジャブジャブサーキットがツアーを辞めてしまう。私はそのうちの15年ほどの活動しか見ていませんがその間、正直「よくわからん」「カッコいい」「ムズカシイ」「シブい」……様々な作品・作風を観てきました。一貫しているのは大人の余裕を感じる、ゆるめで丁寧な会話劇。決意のファイナルツアー。とはいえ、きっと力の抜けたジャブジャブサーキットらしい作品になるのだと思います。

藤島えり子(俳優)



劇団ジャブジャブサーキット「正劇オセロと貞奴」(2024)

12/6[土]・7[日] 小ホール 7日のみ

劇団ジャブジャブサーキット
創立40周年&ファイナルツアー
「夜の横顔」

[6日]14:00開演/18:30開演 [7日]14:00開演
整理番号付自由席
一般3,000円(当日3,300円)、22歳以下2,000円(当日2,300円)
◎三重県文化会館チケットカウンター 059-233-1122

10月4日(土)チケット発売



静けさの中に灯る光 —エドワード・グリーグの音楽が語りかけるもの—

Music vol.5

エドワード・グリーグ(1843-1907)の音楽が、はじめて私の心を深く打った瞬間を、今でもはっきり覚えている。

それは学生時代にエミール・グレリスによる《抒情小品集》の録音——ドイツ・グラモフォンに残された隠れた名盤を耳にしたときのことだ。

「鋼鉄のピアニスト」として知られるグレリス。しかし、そこから聞こえてきたのは、そんなイメージを覆す音だった。あたたかく、誠実で、思慮深い音。その音が内包するのは北欧の日常の何気ないひととき、あるいは、神話かもしれない。どこか懐かしく、それでいて一度も目にしたことのない風景が、心の中にゆっくりと広がっていく。グレリスは、グリーグの音楽の奥底に潜む「あたたかな光」を、静かに、そして確かにすくい上げていた。

あれ以来、私は何度もこの録音に立ち返っている。音楽が雄弁に語りかけてきたり、強く何かを訴えかけてくることはない。けれど、だからこそ忘れがたく、心の奥にそっと残り続けるのだ。

この出会いをきっかけに、私はグリーグの他の作品にも自然と耳を傾けるようになり、当然ながら彼の残した唯一の協奏曲も愛聴するようになった。

第1楽章、グリーグが敬愛したロベルト・シューマンのピアノ協奏曲を想起させる劇的な幕開けの後に聞こえてくるのは、濃厚なロマンチズムと、北欧の雄大な自然を彷彿とさせる広がりや透明感だ。そして、ふとした時に聴こえてくる内省的な静けさは、同郷の画家であるエドヴァルド・ムンクの「夏の夜の海岸」を思い出させる。見る者の感情をどこか遠くへ連れていく、不思議な絵だ。

さて、ピアニストにとってこの作品を演奏する際の難しさは、さまざまな意味でのバランス感覚にあると感じる。力強さと弾力のあるリズムを備えつつも、決して押しつけがましくならず、旋律があたかも自ら語り出すように、自然に響かせなければならない。そこには、繊細な感性と内面的なコントロール力が求められる。

とりわけ第2楽章、ホルンの優しい響きに導かれて始まる静謐なピアノの入りは、デンマークの画家ヴィルヘルム・ハマスホイが描く静かな室内画に、そっと差し込む一筋の光を見つけたときのような美しさを感じさせる。その微細なニュアンスを聴き取り、聴き手に自然に伝えるには、高度な耳と感性を備えた熟練のピアニストでなければならない。

民族舞曲風のリズムに導かれる終楽章は、グリーグが愛したノルウェーの魂そのものだ。だがその熱気の奥にも、やはり彼ならではの品格と、抒情性が息づいている。

グレリスの《抒情小品集》で感じた「静けさの中に灯る光」は、ピアノ協奏曲にもそっと差し込んでいる。そして、その光がこの音楽に柔らかな陰影を与え、確かな存在感と深みを宿しているのだ。 兼重稔宏(ピアニスト)



松本宗利音



仲道郁代 ©Kiyotaka Saito

11/3[月・祝] 大ホール U30割 Classic 復

松本宗利音指揮
新日本フィルハーモニー交響楽団

16:00開演 全席指定
S席5,000円、A席4,000円、B席3,000円
◎三重県文化会館チケットカウンター 059-233-1122



中部電力パワーグリッド

強風で飛ばすモノは
停電の原因に
なるモノです

風で飛びそうなものは、固定するなどのご協力をお願いします。
[停電に関するお問い合わせ] Tel:0120-985-232 受付時間:年中無休

Mie Kotsu Group

安全・安心・安定・快適な
サービスを提供します

三重交通

TEL:059-229-5511
<https://www.sanco.co.jp>

HPはこちら

鈴鹿医療科学大学

保健衛生学部 ●放射線技術科学科
●医療栄養学科 ●臨床検査学科
●リハビリテーション学科 ●医療福祉学科
●鍼灸サイエンス学科 ●救急救命学科

医 用 工 学 部 ●臨床工学科 ●医療健康データサイエンス学科
薬 学 部 ●薬学科(6年制) ●薬科学科(4年制) ※2026年4月開設
看 護 学 部 ●看護学科
大 学 院 ●医療科学研究科 ●薬学研究科

千代崎キャンパス | 白子キャンパス |

花と緑のガーデンセンター

アカツカFFCパビリオン

☎059-230-2121/10~17時(土日祝18時) 火曜定休
芸濃ICより県道10号を津方面へ車で約3分

akatsukaffcpavilion 株式会社 赤塚植物園

警備 清掃 設備 サービス

ISO9001・ISO14001認証取得
プライバシーマーク認証取得

企業の安全と快適な環境作りに奉仕する
近畿ビルサービス株式会社

三重営業所 〒514-0035 三重県津市西丸之内24番14号
電話(059)269-7000 FAX(059)269-7001
<http://www.kinkibiru.co.jp>

本社・営業所 富田林、大阪、堺、河内長野、狭山、和泉、和歌山、橋本、奈良、兵庫、京都

TOTO特約店

各種住宅設備機器
建築資材
空調機器
電材
管工機材
販売・施工
リフォーム工事

株式会社 東晋商事

本 社 津市高茶屋小森上野町2793-1
TEL059-234-2771
伊勢営業所 伊勢市鹿海町1625-1
TEL0596-23-5501



三重県立美術館

津市大谷町11 TEL059-227-2100 FAX059-223-0570
開館時間:9:30~17:00(入館は16:30まで)
休館日:毎週月曜日(11月3日、11月24日は開館)、11月4日(火)、11月25日(火)



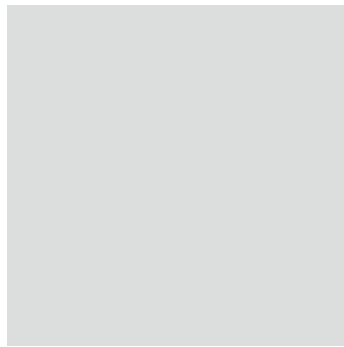
世界を魅了したポップ・アートをご堪能あれ

アンディ・ウォーホル、ロイ・リキテンスタイン、ジャスパール・ジョーンズ、ロバート・ラウシェンバーグ。多くの方がこの4人の名前を1度は耳にしたことがあるのではないのでしょうか。彼らは1960年代にアメリカのアート・シーンで頭角を現し、後に世界に大きな影響を与えたポップ・アートのスターたちです。この秋、三重県立美術館では「ポップ・アート 時代を変えた4人」展を開催し、彼らの作品をご紹介します。

大衆文化と結びつき、広告や雑誌、メディアなど日常で目にするものを美術に取り入れた芸術動向であるポップ・アートは1950年代にイギリスで誕生しました。その後、戦後に大国へと成長し、政治、経済、文化など多方面で世界をリードしたアメリカで大きく発展します。その中心となったのが、冒頭で挙げた4人の作家達です。本展では、彼らを1960年代に脚光を浴びたザ・ビートルズの愛称になぞらえ、「FAB4(The Fabulous 4=素晴らしい4人)」と呼んでいます。彼らはコミックの一コマや商品パッケージ、アメリカ国旗、有名人のポートレートに報道写真など、それ

まで芸術作品ではほとんど用いられることがなかった題材を取り入れ、魅力的な作品を生み出しました。

今回ご紹介する《マリリン》はアンディ・ウォーホルの代表作の一つ。画面には、皆さんもよくご存じの往年のハリウッド女優マリリン・モンローの顔が大きく写されています。1962年、ウォーホルはマリリン・モンローの訃報を聞くと、すぐにこの人気女優を主題にした作品に取り掛かりました。作品に使われたマリリンのイメージは1953年に公開された映画『ナイアガラ』のスチル写真から切り取ったものと言われています。どこか物憂げな眼差しは、36歳という若さで謎の多い死を遂げたこの大女優の悲劇的な最期を偲ばせます。また、そのうつろな表情には死の影を見出すことも可能でしょう。しかし、これと同じイメージが何点も並んでいたらどうでしょう。ウォーホルは《マリリン》を、色を変えて何点もシルクスクリーンで手がけており、本展でも色違いの10点の《マリリン》が一つの壁に展示されます。マリリンのイメージは機械的に複製されることによって、実在する(した)人間という印象は希薄になります。



アンディ・ウォーホル
《マリリン》1970年
©Joseluis Rupérez Collection
©2025 The Andy Warhol
Foundation for the Visual
Arts, Inc. / Licensed by ARS,
New York & JASPAR,
Tokyo C5089

むしろ、大衆文化が生んだ虚像として提示されるのです。会場では実際に様々な色の《マリリン》が並ぶ様子をじっくりご覧ください。

なお、展覧会ではFAB4に加え、4人のスペシャル・ゲストとしてロバート・インディアナ、トム・ウェッセルマン、ジェームズ・ローゼンクイスト、ジム・ダインといった現代を代表する作家たちの作品もご紹介します。今年の秋はポップ・アートの世界を存分にご堪能ください！
(坂本龍太／三重県立美術館学芸員)

ポップ・アート 時代を変えた4人 チケットプレゼント

会期:2025年11月3日(月・祝)~12月28日(日)
観覧料:一般1,000円(800)円、学生800(600)円、高校生以下無料
※()内は前売および20名以上の団体料金

三重県総合博物館(MieMu:みえむ)

さあ、今年の秋はMieMuで考古学三昧

「発掘された日本列島2025」は文化庁の企画で開催される巡回展で、今年で31回目を迎えます。ところで発掘調査は、毎年全国で8000件ほど行われているそうですが、私たちがその成果を知る機会はほとんどありません。そこで平成7(1995)年から始められたのが、この企画展です。展示室には、近年行われた発掘調査の中から、特に注目された出土品が所狭しと並び、継続して行われてきた調査の成果も、出土した資料の数々がその歴史的な価値を雄弁に語ります。

例えば、大阪府羽曳野市と藤井寺市にまたがる陵東遺跡から出土した人物埴輪は、5世紀後半に製作されたものですが、その後の6世紀後半につくられた水田に水を引く溝から、わざと壊され、頸部と胴体が切り離された状態で発見されました。人物埴輪と言えば本来古墳に立て並べるために作られたものですが、陵東遺跡から出土した埴輪は、どこかの古墳に立てられたあと、100年後に持ち込まれ、水に関わる祭祀に使われたものと推察されます。古墳時代の農耕祭祀を考えるうえで貴重な遺跡と

その出土資料です。

また、琵琶湖では継続した湖底調査が昭和48(1973)年から20年に及び続けられ、大きな成果が得られています。そのひとつ、葛籠尾崎湖底遺跡からは縄文時代早期から近世にかけてのたくさんの土器が見つかっています。保存状態が良いことから捨てられたものではないようです。一方、赤野井湾湖底遺跡では、おびただしい数の使用されていない瓦が見つかっています。湖上を船で輸送中に瓦を落としたので



人物埴輪(男子埴輪)
陵東遺跡出土
古墳時代中期後半(5世紀後半)
約75cm

でしょうか、それとも瓦を積んだ船が沈んだのでしょうか。いずれにしても、湖上を盛んに行き交った船の交通網が偲ばれます。

さらに「発掘された日本列島2025」展では開催地にちなんだ地域展もお楽しみいただけます。テーマは「王権東へ 伊賀の古墳時代」。ここではヤマト王権の東国支配にあたり、隣国の伊賀はどのような役割を担ったのか。当時勢力を東へ東へと拡大するヤマト王権内における伊賀の首長層の地位の高さを、御墓山古墳や馬塚古墳、石山古墳など三重県屈指の大型の前方後円墳の存在やその他の遺跡の出土資料から考えます。

「発掘された日本列島2025」を通じて、先人たちの営みに思いを馳せていただければ幸いです。
(宇河雅之／三重県総合博物館学芸員)

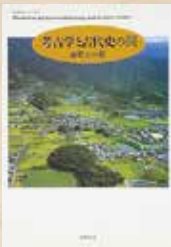
第41回企画展 発掘された日本列島2025 チケットプレゼント

会期:2025年10月18日(土)~12月14日(日)
観覧料:一般800円(640円)、学生480円(380円)、高校生以下無料
基本展示のセット券:1,050円(840円)、630円(500円)
※()内は前売り券及び20名以上の団体割引料金。
障害者手帳の交付を受けている方とその介護者1名様は無料となります。
毎月第3日曜日は家庭の日で団体料金でご覧いただけます。

三重県立図書館の書棚から。今号の美術館・博物館のテーマに関連する書籍をご紹介します

考古学と古代史の間

白石 太一郎／著
筑摩書房
2004.2 210/シ
120652375



日本古代国家に関する著者の研究成果を紹介する本ですが、それらしくないタイトルです。遺物・遺跡を資料とする考古学と、文献史料を資料とする史学。本書の序章では、どちらへ進むか悩んだ著者自身の経験と、考古学と史学の協業への考えが語られます。このタイトルは協業を実践した研究人生を表しているのかもしれませんが。

土の中からでてきたよ

小川 忠博／写真と文
平凡社
2004.6 210/オ
120431283



見てください、この表紙。「でてきたよ」と言わんばかりの顔です。他にもさまざまな顔の土偶やヘンテコな形の何かなど、縄文時代の遺物の写真がたくさん。子どもたちに向けた写真絵本なので詳しい説明はありませんが、土偶や土器、生活道具から住居跡まで、見ているだけで遥か昔の人々の暮らしに興味を湧いてきます。

ポップ・アート

ティルマン・オスターヴァルト／著
Kazuko Isobe／訳
タッシェン・ジャパン
2001.10 D/702.0/オ
115037236



ポップ・アートについて解説してくれる1冊。その歴史や芸術としてのスタイル、それぞれの作品がどういったインスピレーションを源として生まれたのかといった事について詳しく語っています。一見しただけでは写真やイラストを纏めただけにしか見えない作品も、その源泉を知ることで見え方が変わってくるかもしれませんよ。

POST ポップアートの ある部屋

村上 龍／著
講談社
1986.3 F/ム
114208432



ポップ・アートを題材にした短編集。ほぼ全てのページに有名なポップ・アートが挿入されていて、絵に合わせる形で文字が配置されている少し変わった作品です。小説自体はどれも短めで読みやすいのですが、絵と交わると途端に深みが出るというかわかり難くなるというか。乗り物酔いにも似た不思議な読後感を味わいました。

アンケートにご協力いただいた方から

抽選でプレゼント!



Mnews

応募締切: 2025年10月31日(金) 必着

※アンケートにご協力いただいた方の中から抽選で1種類をプレゼントいたします。※応募は、お一人様1回のみ有効です。
※当選の発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。

A賞

- ①ソロ(1枚) 1名
②ペア(2枚) 1名



キーウ・グランド・
バレエ・シアター
「眠れる森の美女」入場券
11月30日(日) 14:00開演 大ホール 全席指定

B賞

- ペア(2枚) 3名

三重県文化会館
セレクションシリーズvol.21
児玉隼人
トランペット・リサイタル
12月14日(日) 16:00開演
大ホール 全席指定
表紙・主催事業ピックアップをチェック!



©Yuji Ueno

C賞

- ①ソロ 10名
②ペア 5名



三重県立美術館
ポップ・アート 時代を変えた4人
入場券
11月3日(月・祝)~12月28日(日)
P7 ぐるっとMをチェック!

D賞

- ①ソロ 10名
②ペア 5名



人物埴輪(男子埴輪)
陵東遺跡出土

三重県総合博物館
発掘された
日本列島2025
入場券
10月18日(土)~12月14日(日)
P7 ぐるっとMをチェック!

E賞

- 10名

アートショップMikke
おぼろめ
~朧染着物文様~
おもてなしタオル
※柄はお任せください。



応募方法

webから、または郵便にて次のアンケート回答をお送りください。

- Q1. Mニュースの入手場所(例: そうぶん館内、ダイレクトメール、お店など)
Q2. 面白かった記事、興味を持たれた記事は何ですか?(複数回答可)
Q3. 特に面白かった記事を1つ教えてください。
Q4. 内容はいかがでしたか? A: 満足 B: ほぼ満足 C: やや不満 D: 不満
Q5. 見やすさ(読みやすさ)はいかがでしたか? A: 満足 B: ほぼ満足 C: やや不満 D: 不満
Q6. 「Mニュースデジタルブック版」を知っていますか? A: 知っている B: 知っているが読んだことはない C: 知らない
Q7. そうぶんへの疑問・質問などお聞かせください。紙面で取り上げさせていただく場合があります。
Q8. ご希望のプレゼント番号(入場券をご希望の方は、ソロまたはペアのどちらかも併せてご記入ください。※B賞はペアのみ)
Q9. 郵便番号、ご住所、お名前、年齢(年代)

web <https://www.center-mie.or.jp/mnews/inquiry151.html>



郵送

〒514-0061 津市一身田上津部田1234
三重県総合文化センター Mニュース151号係

えがおの光
魅せる影

観覧無料
雨天開催

そうぶんの月灯り

秋のライトアップイベントが庭園アートにリニューアル!

秋の竹あかりが、今年から新しい
屋外アートイベントにリニューアル!
フレンテみえ裏にある、日本庭園を
「えがおの光」がやわらかく彩ります。
秋の夜長、そうぶんの裏庭で
「ゆったり散歩」しませんか?



ひかりの実
美術家 高橋匡太

光をあてると浮かび上がる影の世界
影アーティスト 佐藤江未

ミライへつなぐ伊勢型紙
伊勢型紙彫師 那須恵子

2025.11.22(土)・12.7(日)

16:00~19:00(金・土・日は20:00まで)
※11/25(火)、12/1(月) 休館

会場: 日本庭園および茶室

11月23日(日)、30日(日)は夜空の下ではっきり
「月灯りカフェ」も!



三重県総合文化センター 長期休館のお知らせ
期間: 2026年1月から4月末まで

施設の老朽化に伴う屋上防水等の工事のため長期休館いたします。全ての貸館施設およびフリースペースはご利用いただけません。
三重県立図書館の利用につきましては、ホームページでご確認ください。ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

事業協賛会員	公益財団法人岡田文化財団	 百五銀行 FRONTIER BANKING	 三十三銀行	三重県協同組合連絡協議会 (JA・漁協・労福協・中小企業団体中央会)			 NISHO HIGHWAY			
一般協賛会員	朝日屋	三重県舞台管理事業協同組合	カヤバCS株式会社	 住友電装	 三重テレビ放送	 三重電業株式会社	 株式会社チカザワ	宮崎本店	 中部電力パワーグリッド	昭永工業株式会社
 岡三証券株式会社	三重交通株式会社	日本トランスシティ株式会社	パナソニックコネクト株式会社	現場ソリューションカンパニー	中日本社	東芝ライテック株式会社	三重県信用金庫協会	 三重県信用保証協会		
 鈴鹿医療科学大学	 株式会社 東海ダイケンビルサービス	 井村屋グループ株式会社	 伊藤印刷株式会社	 株式会社 モノモノ手づくりファーム	岩間造園株式会社	株式会社 東洋軒	 学校法人 皇學館	三重県職員信用組合		
 アスカ	制服	レディオキューブFM三重	 株式会社光機械製作所	 ZTV	医療法人 誠仁会 塩川病院	有限会社江藤電設	三菱電機プラントエンジニアリング株式会社	 コソコソ鑑定調査株式会社		
 生活協同組合	コープみえ	放送大学三重学習センター	 株式会社 ヤマラ	 赤塚植物園グループ	 近畿ビルサービス株式会社	 東晋商事	 東報電産株式会社	ヤマハサウンドシステム株式会社		
 社会福祉法人 洗心福祉会	医療法人 津 健康クリニック	緑豊かな暮らしと共に！ (株) 山本造園	東京ライフギャランティー株式会社	株式会社エスバ	 アースダンボール	 BEING				



- 交通のご案内 近鉄・JR線、伊勢鉄道「津駅」より徒歩約25分
鉄道 近鉄名古屋線・JR紀勢本線・伊勢鉄道「津駅」下車
バス 三重交通路線バス「津駅西口」から約5分
タクシー 近鉄名古屋線・JR紀勢本線・伊勢鉄道「津駅西口」から約5分
自家用車 伊勢自動車道芸濃インターから約15分、津インターから約10分
※名古屋から約1時間、大阪から約1時間40分
※無料駐車場があります。催しが多く開催される日は大変混み合いますので、できる限り公共交通機関をご利用ください。

- 開館時間のご案内 9:00~19:00(貸館等で使用する場合を除く)
※チケットカウンターは10:00~17:00、アートショップMikke(みつけ)、レストラン、売店の営業時間は、ホームページ等でご確認ください。

次号予告 12月発行 [Mnews] vol.152 | 工事休館中は「出張そうぶん」!

Mnews

●WEBサイト www.center-mie.or.jp/ こちらからもご覧いただけます。

Emニュースは次の場所で入手可能です。三重県総合文化センター館内、三重県庁・市役所・市町図書館、三重県内公共文化施設、チケット発売所、三重県内道の駅、三重県内病院・歯科医院、三重県総合文化センター周辺のお店、ショッピングセンターなど。また、三重県文化会館シアターメイツ会員には無料で送付しております。詳しくはシアターメイツ事務局まで(059-233-1116) 上記の他にも、多数の企業・団体・公共施設の皆様に配布のご協力をいただいております。

- 休館日のご案内 毎週月曜日(祝日の場合は、翌平日)、年末年始
県立図書館は休館日が異なりますのでご注意ください。
県立図書館 TEL059-233-1180 <https://www.library.pref.mie.lg.jp/>

- そうぶん・県立図書館休館日カレンダー

10月							11月							12月						
月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
6	7	8	9	10	11	12	3	4	5	6	7	8	9	8	9	10	11	12	13	14
13	14	15	16	17	18	19	10	11	12	13	14	15	16	15	16	17	18	19	20	21
20	21	22	23	24	25	26	17	18	19	20	21	22	23	22	23	24	25	26	27	28
27	28	29	30	31			24	25	26	27	28	29	30	29	30	31				

■...そうぶん・図書館とも休館 □...図書館のみ休館

MIE CENTER FOR THE ARTS
三重県総合文化センター

〒514-0061
三重県津市一身田上津部田1234
TEL059-233-1105 FAX059-233-1106

